



平成24年11月-12月

杉の実だより

杉浦実業株式会社

大阪市東成区中本3-16-13 TEL06-6976-6194 FAX06-6976-3964

編集：杉浦勝昭

ご挨拶

いい恰好をしようという気はないが、よく見られたいという思いはどこかに残っている。ただ年齢とともに、見栄を張っても仕方ない、自分なりにやっていくしかない、と開き直っている。

自分以上に見せかけようとしたり、自分以外のものになろうとしても無理があるのがわかってくる。自分なりの自然体が一番良いと、自ら言い聞かせ、卑下したり無理に謙遜することなく、自分の個性を素直に表に出すように心がけている。面白がってくれる友人もいるが、響感を買っている場合もあるだろう。しかし、迷惑をかけたりしない限り、自分が持っている他者との「差異・相違」を楽しみ、面白がろうと思う。

お隣と一緒に横並びで「同じ」の安定・安泰・安心の中で「つるむ」のは止め、「異り・違い」のトンガリに精神を刺激すればより脳内を活性化することになるだろう。人と違うことを楽しみながら、今までの自分とも変わっていく。変えていく・・・

まだまだ挑戦だ！ 若さ・柔軟さを維持しつつ自分らしさを追求していこう！

杉浦勝昭



時々刻々

当社では、毎朝レイنز日報の情報提供を受けています。レイنزというのは社団法人近畿圏不動産流通機構に登録された物件が検索できる不動産屋さんの不動産物件情報ネットワークのことで、不動産業者さんはもれなく加盟しています。前日に登録された物件が翌日の深夜に配信されてくるシステムをレイنز日報と呼びます。

私の担当は大阪府八尾市ですので、その情報を毎朝確認して気になる物件を見に行くことで、地域の不動産情報を頭に入れていきます。その中で思うことは、本当に不動産価格というのはよくできているなあということです。

「お、この物件安いな・・・」と思うものは間口が狭いとか、前面道路は広いがそこに進入するまでの道路が狭いとか・・・必ず何か欠点があります。別嬪さんで安い物件というものは本当に出てきません。その中でも何か良い物件はないかと夢を追い続けているのも事実です(笑)

そういった細かい動きをしながら地域の情報を仕入れて見に行き、相場観を養う。見に行つたついでに近所の不動産屋さんに顔を出して情報交換を行う。不動産屋というのは思いのほか地味です(笑)

でも、それを怠ると完全に情報弱者になってしまうのです・・・

世の中の状況は時々刻々変化しています。不動産市況状況も時々刻々、おいて行かれないようにしなければ！！

P.S こんな作業、嫌いじゃないです(笑)

(しんぢ)



iPad 漢字アプリ

パソコンを使いだして、文字を書く機会も少なくなっていき、いざという時に漢字が思い出せない！！

簡単な漢字でさえ、思い出すのに時間がかかり（まあ思い出すのに時間がかかるのは漢字だけではないのですが(笑)・・・) どうにかしたいと思っていたところ、iPadも支給してもらったし、「漢字を勉強しよう！」とアプリを探しました。

数あるアプリの中で「漢字力診断」というアプリを選び、さっそく試してみました。

最初はやっぱり全然漢字が書けなかったし、正解をみるとこんな簡単な漢字も書けないのか・・・と愕然としました。しかし、何度もあきらめずにやっていくうちに、脳も活性化してきたのか少しずつ思い出す時間が短くなっていき、書ける漢字も多くなってきました。

何となくわかるんやけど、へんはこんな感じの・・・とか、つくりはわかるけどへんってどんなんやっけ??と考えることが楽しくなってきたんです。今は漢字がパッと頭に浮かぶようになり、漢字を思い出す瞬発力もついたように感じます。

ちなみに、隣の席の平出姉さんも同じアプリを入れていて、この漢字アプリで良く話が盛りがります。今ではメモを取るのにも漢字が多くなりました。

まだまだ書けない漢字も多いので今後も勉強していこうと思っています。

(みるて)



不動産について 何でも ご相談ください 06-6976-6194
価格査定 担保評価 相場 境界問題 測量 契約書 貸したい 借りたい 買いたい 売りたい

京都水族館



2012年3月、京都の梅小路公園内に水族館がオープンしました。

「海のない京都盆地に、なぜ水族館？」

こたえは、水族館の9つの展示ゾーン最初の「京の川ゾーン」にありました。

この水族館、規模は小さいですが、海にかいじゅうゾーン、ペンギンゾーン、大水槽、イルカスタジアムなど9つの展示ゾーンがあり、海洋ゾーンでは、いきものに直接触れることのできるコーナーもあります。

「イルカスタジアム」では、バンドウイルカたちがいろいろな泳ぎを披露しながら、トレーナーさんがイルカの生態を説明してくれます。ダイナミックなジャンプやかわいい仕草で楽しい時間を過ごせました。そんなバンドウイルカの魅力を、イルカトレーナーの視点を通して子どもたちにも分かりやすい内容で紹介した「わくわくイルカブック」が館内で販売されています。(100円)

さらに京都水族館では、展示だけにとどまらず、ワークショップやバックヤードツアーなど遊びながら学べる体験プログラムを定期的実施されています。



関西には、大阪の海遊館や須磨水族園などたくさん水族館がありますが、京都水族館は京都駅から近いので京都観光のひとつに加えてみてはいかがでしょうか。(ゆず)

オクトーバーフェスト

9月14日から9月30日まで天王寺公園内において、本場ドイツビールの祭典「オオサカ オクトーバーフェスト 2012」が開催されました。

テレビでも何度か中継されていて、ものすごく興味があって開催日終盤になってやっと行く事ができました。

公園の広いスペースを利用してドイツの各醸造所ごとにブースが設けられて、それぞれのオリジナルビールが数多く品揃えされていて、とても一日では回りきれ



る数ではありませんでした。初めて聞く名前ものばかりで、何から飲んだらいいのか迷ったのですが、

パンフレットで紹介されている数量限定のものと、ドイツで一般的に飲まれているビール、本場ドイツで金賞を獲得したビールの3種類に絞って飲んでみました。それぞれ非常に個性的で日本ではなかなか味わえないものでした。

「ビールの女王」ヴァルシュタイナーは中でも絶品の飲み味でした。もう一杯いきたかったのですが、さすがに酔いが回ってしまい断念しました。値段がそこそこ(一杯平均1300円+保証金1000円)なのと、食べ物がいまいちなのが残念でしたが、来年こそは通いつめて全種類制覇したいと思っています。(ならづけ)

ニコラ君 アンコール (日本研修総括)



結局、四か月の大阪の生活は速く過ぎました。楽しかったし、ええ所に住んでいたし、それに研修は最高の体験だったと思います。

...

お世話になりました。杉浦実業、いつもありがとうございます。内の会社の皆さんとの関係を絶対守ります。それに大阪と近畿は愛しているので、絶対遊びに来ます！フランスで日本でどこでも会ったらいいです。

私にとって、研修の目的は日本のビジネスの文化の理解でした。今名刺や挨拶や人間関係の見方とやり方が分かるようになったと思います。それで、もう少し勉強すれば、日本と強い関係のある仕事ができるでしょう。今私は迷っていますが、在外公務員の試験をパスしてみるかもしれません。それとも、日本に営業をしているフランスの会社に入社する可能性があります。それとも、フランスに営業をしている日本の会社に入社する可

性もあります。

いつか日本に住みたいと思います。日本の一般生活が大好きなのです。土日に田舎へ行ったり、春と夏で海に行ったりバーベキューをしたり、毎日美味しいけど安い料理を食べたり、社員と友達と飲み会をしたり、日本の入り組んでいる狭い道で転々散歩したりするのが慕います。

(ニコラ・フラマン)

9月にはポルトガルから絵葉書を送ってくれました。 → → → → → →
こんにちは！ポルトガルに旅行しています。すばらしい天気だし、おいしいワインが多いし、いっぱい洋菓子を食べています。ちなみに、杉の実の新聞をもらいました！

ありがとうございます。

Nicolas



ニコラ君の作品



北九州「門司港駅舎」98歳

～新たな歩みのための休息～

14歳の中学生からずっと、「いつか足を運び観てみたい！」と願っていた門司港駅に先日降り立った。



ホームに降りると一気に大正時代を感じさせるレトロ感に包まれた。「待合室」や「切符売り場」の看板文字、人が袴姿で歩く光景が目に浮かぶ。当時、鉄道雑誌で見た写真通り、正面からの光景は格別に美しい!! 1914年(大正3年)に建築、今日まで建設当時の姿を残していた。説明によると、左右対称の外観デザイン・木造2階建て・1988年、全国の駅舎で初めて国の重要文化財に指定されたと記されていた。

駅舎は、長年の風雨等に耐えてきた傷跡(剥げた塗装、クラックのある壁、朽ちた木部材)や汚れた壁床天井が目立っていた。柱等の彫刻も何を表しているのか分からない状態だが、歩くとときしむ階段や廊下、ドアや窓枠などを見ていると、味わいがありどこか日本の懐かしみを感じた。

2012年9月29日から5年半かけて、大規模保存修理工事(駅舎は骨組みを残して解体)が実施。工事期間中は、建物を保護する素屋根で完全に覆われるため、駅舎は見えなくなる。今が最後の機会と思い、完全な姿をビデオで画像に残し、心にも深く記憶した。

当時のまま使われている待合室に座っていると、大正生まれの祖父母に包まれた温かさを思い出した。生まれ変わった後も大正時代の味わいをどこかに感じさせてほしいと思いながら、2018年3月完成予定の新しい「門司港駅」の姿が楽しみです。



新しい「門司港駅」の姿が楽しみです。

(ノッポさん)

信 頼

私たちの身の回りには、さまざまな悩みやトラブルを抱えている人がいます。

もちろん、不動産の悩みもその一つだと思います。

不動産の悩みだけではないですが、話を聞くと「誰に相談したら良いのかわかりません」と良く言われます。本来なら、当事者同士が話し合いを行い解決すれば良いのですが、お互い感情が入り話し合いにならないケースがほとんどです。



まずは、人を信じて相談する事から始めたら良いと思います。人に言わないと何もアドバイスも出来ないし、解決も出来ません。自分自身で悩みを抱え込み解決するのでは無く、出来るだけ信用出来る人に相談して下さい。相談を受ければ、何とか解決しようと出来る限りの事はします。

「人の言葉に頼る」事が信頼なのかなぁ～と思います。

さあ～信頼される様に頑張るぞ～!

(ヨッシー)

キッチン・バー「混」

今回ご紹介するお店は地下鉄御堂筋線「昭和町」駅近くの「混」さんです。

こちらのお店、お料理はフレンチなんですがお店が古い町屋を改装したちょっと変わったフレンチレストランなんです。

外観は飲食店が4件並ぶ長屋でお店のパンフレットを見ると建物は昭和町の文化財に指定されているらしいです。

まずお店に入ると靴を脱いで2階に通されます。これが本当に昔懐かしい階段で、何かおばあちゃんの家に来たようなそんな気分させられました。

お部屋も和室に絨毯が敷かれたザ・昭和といったそんな雰囲気のお部屋です。

お料理はコース、単品とお好みでオーダーできるみたいで、だいたいお料理の1人当たりの予算は5,000円位だと思います。

(お昼のランチは1,500円)

読者のみなさんも、いつもとはちょっと違った雰囲気でお料理を楽しんでみてはいかがでしょうか。

(虎)

住所：大阪市阿倍野区阪南町1-50-25

TEL：06-6623-4156

営業時間：[平日]11:30～14:00 17:30～22:30

[土日祝]11:30～14:00 17:30～22:30

定休日：月曜日



「杉の実サロン」のお知らせ

テーマ「橋下徹 試論」：平成24年11月9日(金) 18:00-20:00 杉浦実業 第三ビル

バングラデシュ・香港産業視察

メルマガ「うごくもの・うごかないもの -人・企業・不動産-」
まぐまぐ ID 99461 平成24年10月号抜粋

毎年東大阪商工会議所は海外へ産業視察を開催するのですが、その行先、訪問先が普通には行けないものなので、注目しています。もう何年も前になりますが、まだ今のように知られる前のドバイとイスタンブールの視察があり、参加しました。昨年の訪問国はミャンマーだったので申し込んだのですが、都合で残念ながらキャンセルしました。

今年はバングラデシュということで、喜んで参加しました。予想通り非常に興味ある視察旅行でした。

旅行の中身自体はもちろんよかったです。旅行参加者のお話がこれまた非常に興味のある内容のものでした。「旅行は、どこへ行くのが大事だが、誰と行くのかはもっと大事だ」といった意味のことを聞きましたが、まさにその通りで、同行者との会話でこの旅行がさらに一層値打ちのあるものになりました。東大阪の製造業の経営者ばかりで、日頃から経営者と話をする機会はあるのですが、旅先での気楽な気さくな雰囲気の中で個人的に踏み込んだ話を聞いたのは貴重でした。見識ある意見や経験話に接することができて、今更ながら尊敬の念を深くしました。



ダッカの新聞にも大きく取り上げられました

さて、訪問国バングラデシュそのものについてですが、なかなか大変な国だなあ、というのが、ほとんどの人の共通した感想でした。

面積が日本の3分の2の低地に、1億6千万が住んでいる貧しい

国、ひとり当たりのGDPでは下から数えるような国で、ほかの国へのセールスポイントは、人件費が安いですよ、ということ。

ダッカの商工会議所でもそんな話ばかりがでてくるので、逆に日本の参加者から人件費が安い安いということ売り物にするのではなく優秀な人材があるということも売り物にしていかないといけないのではないかと、といった疑問が出るくらいでした。国の方向としてそちらを目指すべきではないか、と話が出ました。

不潔な川で洗濯をする姿、その横で水浴、食器洗い！！



バングラデシュ側からは、いま投資すれば儲かりますよ、といった勧誘やセールス・トークばかりで、早い者勝ち、とにかく進出してほしいという期待ばかりが表明されました。

産業はアパレルくらいしかなく、日本から進出しているYKKは立派な工場を運営しているし、ユニクロもやっていけるでしょうが、アパレル以外、町はまだまだこれからといった様子です。(ただしすでに日本からの進出企業は急激に増えているそうです)

特に首都ダッカでは、天然ガスで走る自動車・トヨタの数はすさまじく、中心部の交通渋滞はひどいものです。車の横を70万台の人力車がエッチラ・オッチラ荷物を積んで走っていて、混雑・混乱・混沌を繰り返しています。

気になったのは、放りっぱなしにされているごみの量で、町のいたるところの不潔さです。とても清掃の意識はありません。だれも片付けようとしたり、綺麗にしようという動きはないようです。生ごみから産業廃棄物まで、すべてがゴツチャになって道路わきに放棄されています。貧しい、ということだけで片付けられるのか、前回ミャンマーへ視察に行った参加者のはなしではミャンマーは貧しくてもこんな汚さ、不潔さはなかったということです。このような實際を、どのように理解すればいいのだろうか。

こんな光景を強烈に見に焼き付けられた後、香港へ入ると、ほっと一息というか、人心地が着くというか、天国と地獄の差を見るようで、別天地に来たという気がしました。

さて、貧しい国はすべて豊かになっていくのだろうか、バングラデシュが豊かになるのは時間の問題なのだろうか、いま日本から投資をすれば確実に儲かっていくものなのだろうか、いろいろクエスチョンマークをもって帰ってきました。

(KS)



渋滞！渋滞！



色鮮やかなリキシャ



こんなので大丈夫なの？



天国？ 香港